

小学校第4学年 道徳科 学習構想案

日 時 令和3年10月20日(水) 第3校時
 場 所 4年1組教室
 指導者 教諭 大溝 謙二郎

1 学習構想

主題名	正しいことを行うために (内容項目A(1)善悪の判断, 自律, 自由と責任)	
ねらいと教材	(1)ねらい しょんぼりしている大地に対してぼくはどうすべきなのか話し合う活動を通して, 正しいと思うことを行うことの大切さや難しさに気づき, 正しいと判断したときには自信をもって行動しようとする心情を育てる。 (2)教材名 スーパーモンスターカード 出典:「道徳4(光村図書)」	
評価の視点	評価の視点 1	評価の視点 2
	正しいと思うことを行うことの大切さや難しさについて, 善悪の判断という点から多面的・多角的に考えようとしている。	自分の中にある善悪の判断について振り返り, これまでの自身の言動と重ね合わせながら考えようとしている。
目指す児童の姿		
正しいと思うことを行うことの難しさや大切さに共感し, 正しいと判断したときには自信をもって行動しようとする児童		
主題に迫る学習課題 (本時)	本主題で働かせる見方・考え方	
自分が正しいと思うことを行うために大切なことは何か。	善悪の判断について多面的・多角的に考え, 自分との関わりで考えながら, 自己の生き方についての考えを深めていくこと。	
内容項目相互の関連的・発展的な指導, 各教科等や体験活動等との関連的指導		
日常生活	道徳科	
「基本的な生活習慣」 ○ 正直に明るい心でのびのびと生活する。 「友達との関係」 ○ 悪いことと知りながらも周囲に流されたり自分の弱さに負けたりせず, ダメなものはダメだと友達に伝えるなど, 自分が正しいと思ったことを自信をもって行動する。	「『正直』五十円分」 A(2)正直, 誠実 「スーパーモンスターカード」(本時) A(1)善悪の判断, 自律, 自由と責任 主題名 正しいことを行うために最後の場面で大地に対してぼくはどうすべきなのか話し合う活動を通して, 正しいと思うことを行うことの大切さや難しさに気づき, 正しいと判断したときには自信をもって行動しようとする心情を育てる。 「雨のバスでいりゆう所で」 C(11)規則の尊重	総合的な学習の時間 「人にやさしくらし」 ○誰もが豊かにくらす社会を目指した取組を知り, 人にやさしくらしについて考える。 「水のあるくらし」 ○水のある豊かなくらしについて調べる活動とおして, 豊かな環境を守り続けるために, 自分たちが取り組むべきことを考える。

2 主題設定の理由

学習指導要領における該当箇所（ねらいや指導内容についての教師の捉え方）

本主題は、第3学年及び第4学年の内容項目 A(1)「正しいと判断したことは、自信をもって行うこと」を基にしたものである。

私たちは、日々、様々な状況の中で、多様な価値観のもと、各自で、または他者と話し合いながら善悪を判断していくことが求められる。過信や自分勝手ではなく、よいと思ったり正しいと判断したりすることや、その判断に基づいて、周りに流されることなく、自律的に行動しようと努めることは、生きていくうえで重要なことである。誠実さや謙虚さを忘れず、自ら信じるところに従って、自律的に判断し、実行する力をつけさせたい。

本主題における系統

小学校第1学年及び第2学年 内容項目A(1)(善悪の判断, 自律, 自由と責任)

よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。

教材名「どうしよう」

主題名「よくないと思うことは」

小学校第3学年及び第4学年 内容項目A(1)(善悪の判断, 自律, 自由と責任)

正しいと判断したことは、自信をもって行うこと。

教材名「スーパーモンスターカード」

主題名「正しいことを行うために」

小学校第5学年及び第6学年 内容項目A(1)(善悪の判断, 自律, 自由と責任)

自由を大切にし、自律的に判断し、責任のある行動をすること。

教材名「スイッチ」

主題名「自由を実現させる心」

児童の実態（児童の学習状況や実態と教師の願い）

本学級の児童数(10名)

■主題に関する意識の状況

(1)よくないことだと分かっているけど、見て見ぬふりや知らないふりをしてしまうことはありませんか。

「ある」… 人 「ない」… 人

<理由>

「ある」と答えた人	「ない」と答えた人
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(2)自分が正しいと思うことを行うために大切なことは何だと思いませんか。

■考察

教材の価値（使用する教材の特質や具体的な活用方法）

教材「スーパーモンスターカード」は、万引きをほのめかず大地を止められずにいたぼくが、偶然見かけた大地の万引きを止めることができ、その後どう接すればいいのか悩む話である。友達の間違った考えを指摘できなかった場面と、友達が過ちを犯す前に止めた場面から、正しいと思うことを行うことの難しさや大切さに気付くことができる教材である。さらに、その友達に対して、どのような態度を取るべきか考えることで、正しいと思うことを行うために大切なことについて、多様な価値観に触れることができる教材ともいえる。

本教材を活用した授業においては、「カード、どうしてもほしかったんだ。」と言う大地に対して悩むぼくの葛藤場面を中心発問として考えさせることを通して、児童の多様な価値観を引き出しながら、正しいと思うことを行うことの難しさや大切さについて考えるとともに、正しいと判断したときには自信をもって行動しようと思う児童の心情を育てていきたい。

3 指導に当たっての留意点

【導入・終末の工夫】(学習過程の工夫)

- 「正しいと思うことは行うことは大切だ」と「しかし、それができていない自分」という2つのアンケート結果を比べることで、ダメだとは分かっているけどやってしまう自分の心の弱さに気付かせ、児童が本時の主題に関わる問題意識をもてるようにしたい。その上で教材に出会わせていきたい。(視点②)
- 授業の終末では、元気にあいさつをしている姿や学習に励む姿の写真をスライドで提示することで、自分の心の中にある「自信をもって正しいと思うことを行うこと」を具体的な場面をもとに想起できるようにしたい。(視点④)

【発問の工夫】(指導方法の工夫)

- 児童の価値観の多様性に対応し、様々な視点から児童の考えを引き出すことができるように、教材の登場人物が悩む場面に焦点を当てて中心発問を設定したい。その際、どちらか一方の考えに偏ったり、自身の考えに固執する児童がいたりすることが予想されるが、「自信をもって正しいと思うことを行うために大切なことは何か」という本主題に迫ることを児童が考えられるように、児童の考えの根拠の部分に焦点を当て、考えさせていきたい。同時に、児童の発言に応じて問い返す内容を変えることで、多様な角度から考えられるようにしたい。さらに、児童の発言を整理する中で、勇気をもつことも相手を思いやることも自分が正しいと思うことを行うことのための自信につながっていることに気付かせていきたい。(視点③)
- 聞き手と話し手がお互いに関心をもつことで安心して話ができる雰囲気をつくり、その中で発言させることで児童が自己存在感をもてるようにする。(人権が尊重される授業づくりの視点)

4 本時の学習

(1) ねらい

しょんぼりしている大地に対してぼくはどうすべきなのか話し合う活動を通して、正しいと思うことを行うことの大切さや難しさに気づき、正しいと判断したときには自信をもって行動しようとする心情を育てる。

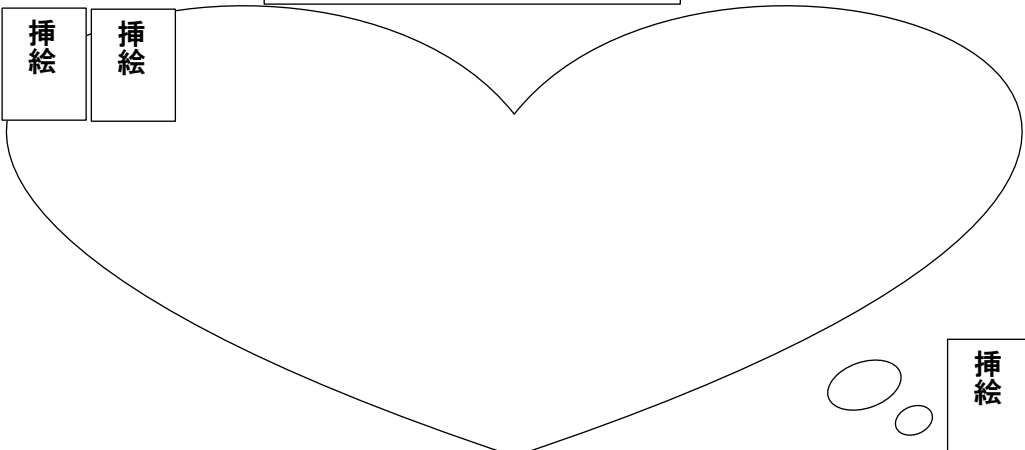
(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p>1 本時の学習課題を知る。</p> <p>①事前のアンケート結果から、学習課題を設定する。 正しいと思うことを行うことは大切だけど、それができないこともあるのはどうしてでしょう。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">【学習課題】 正しいと思うことを行うために、大切なことは？</p> <p>②教材「スーパーモンスターカード」の概要を把握する。 ◇「スーパーモンスターカード」は、はやっている貴重なカードなんだな。 ◇「ぼく」は、何に悩んだのだろう。</p>	<p>○「正しいと思うことは行うことは大切か」と「それができているか」という2つのアンケート結果を比べることで、ダメだとは分かっているけどやってしまう自分の心の弱さに気付かせ、本時の学習課題につなげる。</p> <p>○学習課題の提示後に、教材「スーパーモンスターカード」と出合わせ、スーパーモンスターカードや「ぼく」が悩んでいることについて簡単に紹介することで、教材の中に描かれている問題に気付かせ、中心発問につなげていきたい。</p>
展開	30分	<p>2 教材を読み、道徳的価値について考える。</p> <p>①しょんぼりしている大地に対して、ぼくはどうすればいいのだろう。 ◇万引きはだめだよって伝えればいいと思います。 ◇元気出してって声をかけます。だって、大地が落ちんでいるから。 ◇ちゃんとお小遣いのために一緒に買いに行こうって言えばいいと思います。 ◇大地が分かってくれるように万引きはだめだと伝えたいです。 ◇私だったら怖くて言えないかも。 ◇ぼくは言うよ。だって、万引きはだめだから。 ◇大地と気まずくなるのは嫌だな。だけど、…。 ◇友達だからこそだめだと言わないといけないと思います。だって、…。</p> <p>②あなたは、正しいと思うことを行うために大切なこととは何だと思いますか。 ◇勇気を出すこと。 ◇相手のことも考えること。 ◇本当にそれが正しいのかよく考えること。 ◇相手を信用すること。 ◇自分の弱い心に負けないこと。</p>	<p>○あらすじを把握する中で、大地がしょんぼりしている理由を共有しておく。</p> <p>○大地に対してぼくはどうすべきか話し合う活動の中で、万引きをほめかした大地に対して何も言えなかった心の弱さや、大地を止めたぼくの思いにも触れられるような問い返しを行う。</p> <p>○行為の背景にあるその理由を出させることで、正しいと思うことを行うために大切なことは何かという本時の主題に迫ることができるようにする。</p> <p>○多面的・多角的に考えられるように、児童の発言内容を受けて次の発問を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただ万引きはだめだと伝えればいいのか。 ・ぼくから注意されて大地は悲しまないのだろうか。 ・大地のことを心配することが大切なのかな。 ・次の日から大地と気まずい関係にはならないだろうか。 ・本当にぼくは大地にダメだと言えるのだろうか。 ・それだけでいいのかな。 <p>○正しいと思うことを行うためには、勇気を出すことだけでなく、多様に大切なことがあることに気付かせるとともに、「勇気」も「思いやり」も「自問自答」も自分の善悪の判断に自信をもたせることにつながることに気付かせていきたい。ていきたい。</p>
終末	10分	<p>3 自分自身を振り返る。</p> <p>①ぼくのような心が自分の心の中にもあるか、考えよう。 ◇ぼくも本当はだめなのに、面倒だったりまあいいかと思ったりして、できていないことがありました。それをすぐに変えるのは難しいかもしれないけど、少しずつできるようになりたい。 ◇ちゃんと大地を止めたぼくはすごいと思います。わたしも友達にダメだよってちゃんと言えたことがあります。言えたらうれしいから、これからもちゃんと言いたいです。</p>	<p>○元気にあいさつをしている姿や学習に励む姿の写真のスライドで提示し、自分の心の中にある「自信をもって正しいと思うことを行うこと」を具体的な場面をもとに想起できるようにする。</p>

【評価の視点1】 正しいと思うことを行うことの大切さや難しさについて、善悪の判断という点から多面的・多角的に考えようとしている。
(方法：発言・ワークシート)

【評価の視点2】 自分の中にある善悪の判断について振り返り、これまでの自身の言動と重ね合わせながら考えようとしている。
(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】

10/20(水)スーパーモンスターカード				正しいと思うことを行うために、大切なことは？
挿絵	挿絵	挿絵	挿絵	
挿絵				
挿絵				
				挿絵

【ICT活用計画】

例：教師による教材提示の計画、ICTを活用した発表、まとめ等による考えの共有の計画等

本時導入の課題設定の場面【電子黒板】

課題設定の場面において、ダメだとは分かっているけどやってしまう自分の心の弱さに気付かせ本時の学習課題につなげるために、2つのアンケート結果を提示する。

本時終末の振り返りの場面【電子黒板】

振り返りの場面において、自分の心の中にある「自信をもって正しいと思うことを行うこと」を具体的な場面をもとに想起できるように、元気にあいさつをしている姿や学習に励む姿の写真をスライドで提示。